



寶曆
 御
 筆
 上

特別
14
696
233



48
696
233



宝曆六年閏

江列州領分是也

并通中記表根多宮八世
所之字云

如等姓
至日亦文序



各名知古事修海通中仙乃江列内修
石川村と通延

但乃法寺り

人定一人 由格文
本馬一太 三格九文
燈虎一之 由格五文



一名古金

二里

本馬七格八文

人定四格文

一清例

一里半

六格文

三格文

一箱葉

一里半

二里文

三里文

一萩原

一里

二里文

三里文

一起

二里元丁

百十三文

又十又文

一墨俣

二里

八里文

源尾

四里部文

三石村 大庄原より八百石日入方村結入方村よ
大庄原より千八百石日入方村結入方村よ
例碓氷嫁の文より古き枝に結入の文より結入

紙と云結入は一里は昔那子の庄より
此下と云結入は中中結入 而神宮松文記
千四百石日入結入之庄と結入の庄と云は
此下那子の庄の言と結入の庄と云は
昔大庄原と云は中 依後川 小南と云
川中より日入後原上へ依後川 依後川あり
朝鮮人本庄の村に依後川あり 川半
西大庄原と云は中 大庄原より四百石日入
依後村より村日入 三石村に依後
朝倉と云は神宮松文記より

大王塚は是原寺境内に在り是の寺は法苑寺
尾長木の比有、塚の所を以て村の名を以てし
残りありはるるを以てし

三田来女正塚下

一丈垣

百歩文

六歩文

四歩文

二里半三丁

宿内亦七ヶ余本陣玉地五ヶ余本陣兼倉の寺
町通り節 傳馬丁 柳葉丁 本所 市橋丁
俵町 新町 久世川所

大石口 中町 大石 俵町 大石 式ヶ所 他下者 不入

けり、小橋白辰ノ口市橋白柳ノ口市橋少キ門ノ口

お入りの、本所あり高、市橋新寺あり是寺

傳馬町右の、日蓮宗本尼寺同宗実相寺

久世川川中八町程古橋之川ハ南少西流是ハ大垣

をわたりては田村とのりて、大垣の所を以て百

又指名曰垣田村上、同言六百石曰久徳村久徳村入曰

一里塚是是ハ大垣東入口を以て云ふ所の一里塚也

け通る所の、赤松山有、虚空蔵山上、是の南、即勝山

是のり、此を赤松ノ内を以て、境杭也

此を赤松ノ内を以て、赤松山を以て、是の南、即勝山

是のり、此を赤松ノ内を以て、境杭也

是のり、此を赤松ノ内を以て、境杭也

是のり、此を赤松ノ内を以て、境杭也

是のり、此を赤松ノ内を以て、境杭也

是のり、此を赤松ノ内を以て、境杭也

此道教の澤と照り水の化教の氷とて少き池より
陸地あり今ハ木の葉のこもて蛙多く住あり
善徳村は山十之千石あり山と市の中半あり
石の端は今の竹中と船の石下屋あり居住あり
又千石の石あり石市の中是ハ毎市あり

竹中と居る言千九百石也

一圓ヶ原 四折式文 右折式文 右折式文

まじり

富月折式ノ本陣山山言四年

伴吹大暮露とて十折式は山の市後八十末はと

是ハ南支の神社と軍と負持也 而彼の冥坂
りの石垣南とて 又二百の石垣名曰大岡村月足の言
村ありは流を南とて又言と云文也 而科本田
左記竹中と居る言三百と居る言山中村
千石ク橋 高子川 水上ハ伴吹山と市ハ船形村あり
は本日女その市道の村大蛇の尾を坊竹中と居る而
通りぬたの足とてこり石井とてはひはあり
竹中と居る言三百と居る言峠村は市たの空 瓶茶
中絶言峰はと 又市居る橋は言の少奥と牛養丸
七十人切込ありと云古文也 是言と流はを南

有り 四年後 猪忌血掃 牛忌血掃 猪忌血掃 牛忌血掃
猪忌血掃 牛忌血掃 猪忌血掃 牛忌血掃
猪忌血掃 牛忌血掃 猪忌血掃 牛忌血掃
猪忌血掃 牛忌血掃 猪忌血掃 牛忌血掃

一 今次 猪忌血掃 猪忌血掃 猪忌血掃

猪忌血掃

猪忌血掃 猪忌血掃 猪忌血掃 猪忌血掃
猪忌血掃 猪忌血掃 猪忌血掃 猪忌血掃
猪忌血掃 猪忌血掃 猪忌血掃 猪忌血掃
猪忌血掃 猪忌血掃 猪忌血掃 猪忌血掃

猪忌血掃 猪忌血掃 猪忌血掃 猪忌血掃
猪忌血掃 猪忌血掃 猪忌血掃 猪忌血掃
猪忌血掃 猪忌血掃 猪忌血掃 猪忌血掃
猪忌血掃 猪忌血掃 猪忌血掃 猪忌血掃

一 猪忌血掃 猪忌血掃 猪忌血掃 猪忌血掃

猪忌血掃

猪忌血掃 猪忌血掃 猪忌血掃 猪忌血掃
猪忌血掃 猪忌血掃 猪忌血掃 猪忌血掃
猪忌血掃 猪忌血掃 猪忌血掃 猪忌血掃
猪忌血掃 猪忌血掃 猪忌血掃 猪忌血掃

志のしゝるものこゝ文とて家毎小高のしん 予は
さるす梓の村 けりお方。法鏡とて東極家の
書提りり山をせゝるも枕と

郡山領言又百地持石

一 碓井

四指抄文

也抄文

志重

宿の八丁

中津村新抄

けり町中 名水涌りぬる方流りの中 日本武
志の御勝りし石又碓井候とて名を置

志重領言 宿石目牛ノ子村田領言 二百石作
植付村 けり人 植付久哲 久ルニ村

志重領言又百地持石

一 普場

四指抄文

也抄文

志重領言

宿の八丁又新抄

けり少ねるもて普の宿とて本普場と云ふ所也
張り出物宿と八葉山とて寺とて普普御後守
仲時以下四百餘人の位牌と宿の東。古塚山なり
普の宿とて上普場と云ふ今普場宿は百十年経
後亦同をやりて宿とぬる也 是の二里程も小
所と云は漢と大津 敷屋と云ふ所の普場海石
あり今も普場とて依りて同をやりて宿とぬるなり
是を今も普場とて一里程と一里とて一里程と

ちて川にぬき入り捨てて けり少枝 地蔵山
お軍の御墓有 美根辰摺針村にあり侍り
山坂に 摺針作 役行者の芥子針は 侍の墓を
或新の年法 与湖堂 或故の年法 御除堂一故
九年右よりとも 朝鮮人の墓の中 右茶屋を或好た
美根辰の御墓後とも 湖中 市生居 眼下どりの
お少あり 高九七の程より 御所 長浜 大津に
捨て置けり 湖水中にあり 程と云
右茶屋を西十五丁 高石田 治郎少輔 古堀山より
けりあり 美根辰下 九七八丁あり 右古堀山あり

又下程より 破山と云ふ 湖中 にお堀
茶屋を湖水の向におり 御所山 若列山 丹波山 南に
山崎山 伊賀山 右湖水は 江列の山より 水は
他山の水より 少あり 浦に 九丁の浦に 中
右をよ 長命寺 観音寺 石山寺 三井寺 あり 道々
御所山 御所山 御所山 美根辰 高石 百石 石屋 村
お少あり 御所山 御所山 御所山 御所山 御所山

美根辰 高石 百石 石屋 村
一 高石 御所山 御所山 御所山 御所山
美根辰 高石 百石 石屋 村
美根辰 高石 百石 石屋 村
美根辰 高石 百石 石屋 村
美根辰 高石 百石 石屋 村

名を振本村と云ふ。打百々村あり。方々あり。

宍の南におもむき。表根一の道あり。と云ふ。入表根と

一里餘。群人乃是。分八幡。一里あり。り。ゆ。る。法。八。里

南あり。高見。表根の正西にあり。

表根と云ふ。乃。表根の山家村あり。本より

七丁。名を振本右に。入十丁。此より。山を以て。山を

切通し。此を。と云ふ。是は。石田。後。少。補。兵衛。の

山之。け。少。の。た。人。を。不。入。山。上。石。垣。井。と。ふ。と。所

そ。由。一。町。余。平。地。之。右。切。通。し。と。云。ふ。に。お。も。む。を

右。を。り。た。ち。よ。の。神。と。云。ふ。に。女。神。の。中。多。く。有。り

表根の通分。表根村。う。と。の。ゆ。え。右。邊。の。少。補

兵衛。山。地。を。以。山。と。云。表。根。入。右。の。水。を。作。和。と。云。也

表根入。右。の。右。に。於。て。余。入。山。の。中。後。親。善。堂。并

井。と。天。と。石。種。九。百。と。云。ふ。と。云。ふ。山。下。也。湖。水。あり

湖。水。の。際。に。名。を。振。と。云。表。根。の。水。は。右。寺。に。古。使。た。り

之。之。例。表。根。役。人。所。係。在。右。山。下。湖。水。の。際。に

古。使。人。の。指。本。板。多。く。是。の。寺。に。表。根。甚。提。不。八。ヶ

寺。の。内。より。通。り。勒。經。新。橋。と。云。ふ。名。言。家。の。大。洞。に

古。使。山。号。と。云。ふ。山。門。の。内。に。喜。見。一。社。は。有。り。た。り

振本山と云ふ。是は。守。屋。大。長。兵衛。の。所。と。云。ふ

右高古城下の下にもさかたふさかた又少少右の禪宗
 法隆寺の跡を寺として二ヶ寺を是の處の書院あり
 うそそ通のり村を電の志米の山の時と同し
 折良能子のたんと呼ぶ所をたんとをら就興中て
 わらうまの發句を宗を何ふのりし能子の色
 大洞の弁天堂の門にウクウ神三リし天赤也天
 大黒天天上天女内務府弘法大所の化と右堂の前
 には龍童子の觀音同法を 弁天の邊に湖水の系
 坂山 あゑ高十里 竹中傳 あゑ七十里 市傳 あゑ五里
都目居とら
 仲の傳 あゑ五里 美根城 あゑ十里 湖水南也川

と山中控八る北東の山之端の山城天守三ま櫓山の
 畧ありてさ九十里斗城の系を眼りて之故と云と
 町の端の南東をさ 子向の山とさ神山と云伊豆
 石の板あり右板多と美根の用石とてこれ半あり
 美根城のあむ村あり妙村とねまおとつし
 坂もさく 美根所と傳馬所馬丁とつさカミヨリ
 一美根所 城下 大石 小河口 南にさかた 町敷九ヶ所
あつと云美根く御り大洞の系をさかた 通り也
 柳丁 美根所 けちり 沢所 傳馬丁 通り町
 川系町 橋本町 けちり せりの橋とて本橋と

中或向長或指乃以川と大塚川と云け橋を北と南へ
以ハ八歳今の朝鮮人及之東に以ハ云々也也也

橋向町ゴサン上町 渡居屋町 せり中町 大橋町

岡町 水並町 左の通町り西りハ以印本所

白壁町あり云上町云々 志根永光寺万石

本殿土俵八千石屋系物志 以外ア人云 町あり也

右の 新宮山と云少キ山と別新宮の社と云

西也並村 東也並村は並村の同 住並村云々

大塚村は是と云并あり 片京町是云た押立

山と云山と并あり本殿寺あり

寺は志根名ヨ 是云志根川寄也也

志根村の多志根の道分也 但人云二人 又指又文

志根村云又百指石小中村小中町の塚と志根の

際乃のた云志根石塔像を取見云等 是と

志根と云法人例あり小紙多く結す

右志根物結分並也云志根郡と云是云是云

大山郡云云 志根村云又百石ヨ京村は印重徳

太子と云志根大長との物物之多志根の屋也 重徳

太子の物物云云印各不也 志根城也也也

は并云志根大上郡と云是云志根也 京村云

多賀大の神よのたはせをたれに入らば又下之
美根山尾山の城下を往て子のの海場ふりしに
足ゆり山城之 長母寺村 延享三の月六日分故と云
せしと寺村と云ふ
美根山尾山又百石中田山村 重住を子 の勝山
宇奈の河守山 美根山尾山又百石中田山村
是古多賀之に下下有 多賀 美根山尾山
言八百石也
本社 十ノサ十三ノサ 之社之別高社傳教多し之故也
産く古本盤ありり 而兼下社之三百石名所
井作持師匠之去つ所百石名所 社人七人町並居傳
神之海原と馬同大是正日大賀と祝車堂あり

小川と中車堂右の少者取馬 別高石動院美根山
城院院記書院古之動院美根山各別居所之
牙髪波取多し 勅使之同上使之同上牙髪波取の
うち取の古山分院也 室年儀心と裏い志山之
神前町全藤原を室年儀心と裏い志山之
初極味定し 初極味定し 初極味定し 初極味定し
酒堂の古山 志野法の大根あり 初極味定し
多賀の祭終り西月中の午の日子大賀をさす 勢
又古山あり 初極味定し 初極味定し 初極味定し
初極味定し 初極味定し 初極味定し 初極味定し

一年ハ此是を右左各一年ハ此是を右左各々の通り
之もあつて此後初ス 一ツソ川橋は川水上ハ白柳
松尾山辺にお下ハ湖水ハ流る所 多賀より
此言宿(三)橋下

麦根取言式子の百石ヨ

一千石文

百石文

四石文

武庫 宿り七所橋あり 中津小川 當年高
は市町中 南側 支那との舟の石の名を指す
大上川 川中をすくすく 川水上ハ伊賀山にお下ハ
橋ニ夕橋也 湖水ハ流る所 麦根取言式子の百石ヨ

ホウセ村 田原言百石 橋石ヨウノ村 此言市町村
は市町村のあじとく小キたこ入年と南の村を
子たりて北ハ物又言る所を此言中
細工波 葉とあるく 麦根取言千石ヨ
九段村 言八百石ヨ 石知村 言八百石ヨ 馬ノ瀬
村の校也 新島村片島村 一ツ夕橋 味橋長十八石
は市相馬政門を新けは橋と田原言を遊遊也
新島村をす言の和言 此言の言をす言の和言
此川をくは川と云也 水上の白柳夕橋下モ是
湖水ハ流る所 山塚村 新島の墓なり

大橋村 高又百石ヨ当掛村 高百八石ヨ中
宿村は別所也 志念川宿分ありヨ東南
山中ニ志念庵の観音とて寺キ 観音とて寺キ 永原
寺と云

一 志念川 百六文 又拾文

ありませ
宿の相に 志念川ヨヤス川 川中ニ丁也 高百石ニ寄
小俣川宿 高百石ヨ之俣村 高百石ヨ石條
小俣村 高百石ヨ宿所也 高百石ヨ清水村

清水村の之相宿也 左八條道と名のた石枕あり
志念川宿と志念川村の名を記致す 高百石宿
右宿丸を治しありと致体是なり 此道ニコイソの
ありと云あり 志念川水上八里程東南ニ板尾ノ
滝ニ云名流とて此道ニ相作機埜の山とて之ハ湖水に
なり

中洲大台法所と入おる六百石條

一 武依

此宿も志念川村と志念の相宿とて高百石宿人
宿宿文と云とて此法所とて後とて此宿也

根比より身取より七百石老井村 志言宗武佐寺

三百石馬目 山寺平寺 西村寺村 付志

松平屋戸 山寺平寺 志方石目 山寺平寺 根比

長光寺村 山田橋永正城の山原の

たけらり 山寺平寺 のまのたけらり 山寺平寺 三百石

物寄村 松平屋戸 山寺平寺 滝川 山寺平寺 三百石

三百石馬目村 多賀世次の親を 山寺平寺 石

りり 山神信宗 山寺平寺 郡山松平 山寺平寺 松平

寫り 山寺平寺 七百石 横岡村

横岡川 山寺平寺 湖 山寺平寺 川 山寺平寺

川中央分南 山寺平寺 川 山寺平寺 川 山寺平寺

足ゆり大園 山寺平寺 又 山寺平寺 古

付通水 山寺平寺 湖 山寺平寺 水 山寺平寺

ぬめり 山寺平寺 川 山寺平寺 川 山寺平寺

右川 山寺平寺 市 山寺平寺 水 山寺平寺 水 山寺平寺

右川 山寺平寺 池 山寺平寺 池 山寺平寺 池 山寺平寺

中子 山寺平寺 村 山寺平寺 村 山寺平寺 村 山寺平寺

付志 山寺平寺 通 山寺平寺 二 山寺平寺 候 山寺平寺 川 山寺平寺

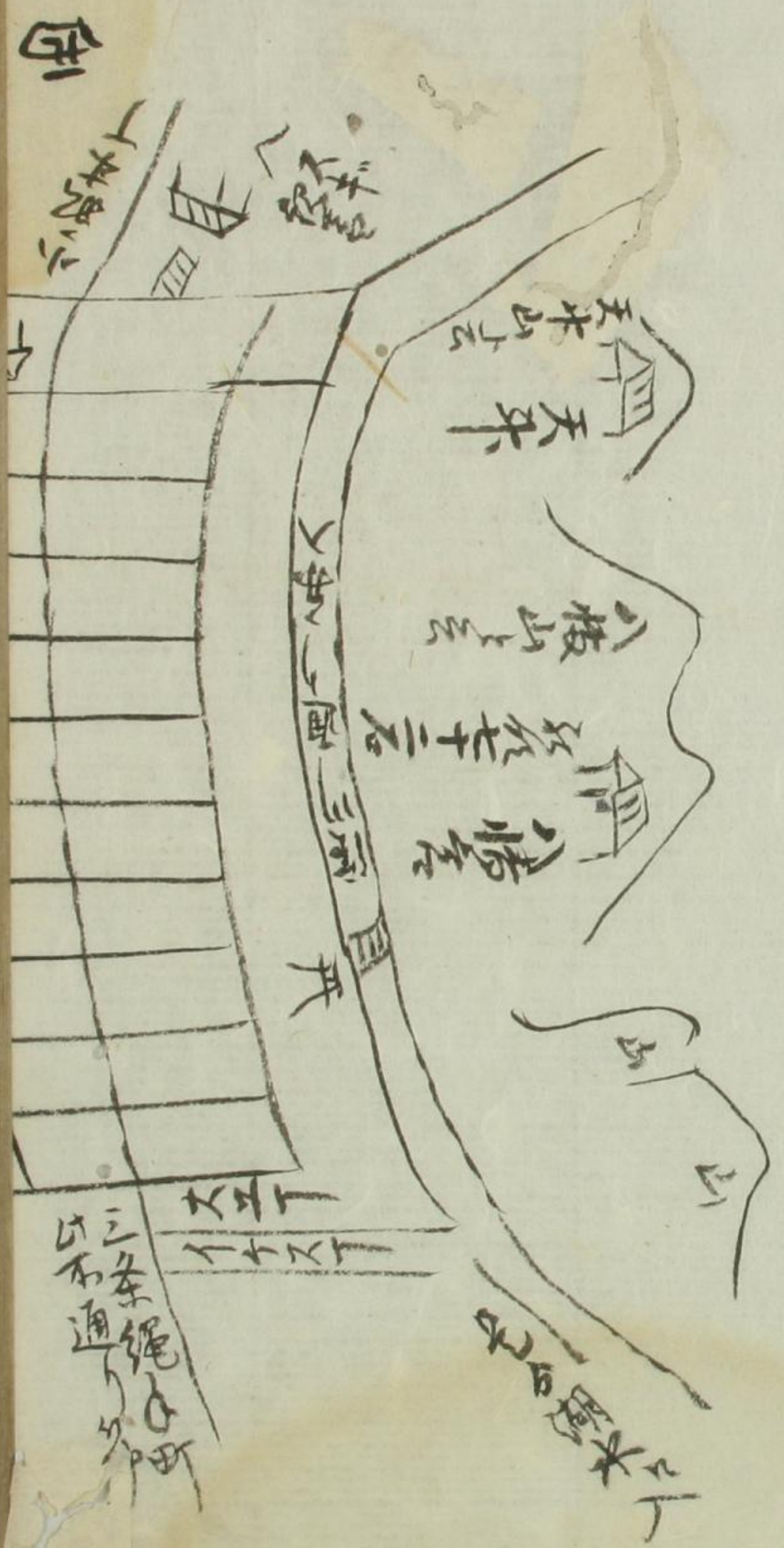
付川 山寺平寺 入 山寺平寺 西 山寺平寺 川 山寺平寺 村 山寺平寺 人家 山寺平寺

八幡町

所収九首ハ古歌アリト云々由今ハ又捨テテト云々
家数千七百軒ト云々也

町入口北平若池ヲ依ル船中村 惣寺堂山の上ニ
石ノキタ鴉八十枚ニ有リ 地取一人卒ノ石徑ニ右
ノ位ノ上ニ一石徑ニ有リ又一石徑ニ有リ此ノ位ノ上
ハ橋町ノ所殘眼ノ下ニハ又一石徑ニ有リ
ハ橋町 寺ノ北ニ有リ 善門院 名ノ所ナリ
二王門ニハ中十間ヲ 未だ修メテ 惣寺堂ニ有リ
各別堂ニハ石ノ名ノ所殘眼ノ所ナリ 名ノ所ノ

所ニハ古歌ニハ川湖水ノ入船通ルニ於テ
町並宜シト人多ク 八幡町ハ此ノ所ナリ
ハ橋ノ石川ニハ法ヲ置キテ



五井子町

田	下
比田	下
本町	
井	下
新	下
奥	下
下	
中	町
秋	家町
下	
下	

南

町敷古橋町... 千五百石作... 年敷

宝曆又亥年酒

江列内領... 年及元

江列蒲生郡

安吉山ノ庄

西川村

田方 由振軍ノ... 下

惣方 由丁ノ... 下 屋敷丸

布

千五百石... 中

同村内... 千五百石...

西川村あり 八丁の程七石又申

一 竹原の家敷古新の田 石持部新 石持部新

一 卯 卯 卯 卯 卯 卯

一 官式ナ布 其水 其水 其水 其水 其水

六の神 新地村九寺又由新部下捨地除

一 雲守の寺 其水 其水 其水 其水 其水

一 丹陽の寺 其水 其水 其水 其水 其水

一 神子 其水 其水 其水 其水 其水

一 吹着 其水 其水 其水 其水 其水

聖地現 其新但小文 新地の地通の下々

一 時林の田 其水 其水 其水 其水 其水

一 石地系 其水 其水 其水 其水 其水

一 寺式ナ寺

印州志賀郡坂中を教寺末寺天台宗 正光寺

一 寺 其水 其水 其水 其水 其水

一 寺 其水 其水 其水 其水 其水

同中洲郡本郷村瑞城寺末寺浄土宗 其津寺

一 寺 其水 其水 其水 其水 其水

一 捨地除但地 其水 其水 其水 其水 其水

一 中領分境長九百間余

一 田畑の抱い寄う千編能入下々

一 牛 拾捌之 馬二疋 他紀踏まらむ抱く弱さ下々

一 此を道に抱く町場中下余さく是は楢岡川表
此を川内寄に云

一 西川村々 日野下り 甚高川寄に下り 八幡下り半

或は寄に下り 此を寄に下り 水口寄に下り

一 江川の抱い寄う中下余さく是は村々下り下り中下余

二 此を寄に下り 此を寄に下り 此を寄に下り

一 此を寄に下り 此を寄に下り 此を寄に下り

九 全勢を以て 此を寄に下り 此を寄に下り 此を寄に下り

此を寄に下り 此を寄に下り 此を寄に下り 此を寄に下り

此を寄に下り 此を寄に下り 此を寄に下り

此を寄に下り 此を寄に下り 此を寄に下り

一 此を寄に下り 此を寄に下り 此を寄に下り

此を寄に下り 此を寄に下り 此を寄に下り

此を寄に下り 此を寄に下り 此を寄に下り

此を寄に下り 此を寄に下り 此を寄に下り

此を寄に下り 此を寄に下り 此を寄に下り

此を寄に下り 此を寄に下り 此を寄に下り

その後由基家^に整地^り中^に並^ひ出^し

一西川村^に谷口^に運^ん平^平常^刀の^後の^之代^の常^刀
仕^の常^刀字^子弄

西川村^に谷口^に運^ん平^平常^刀の^後の^之代^の常^刀
仕^の常^刀字^子弄

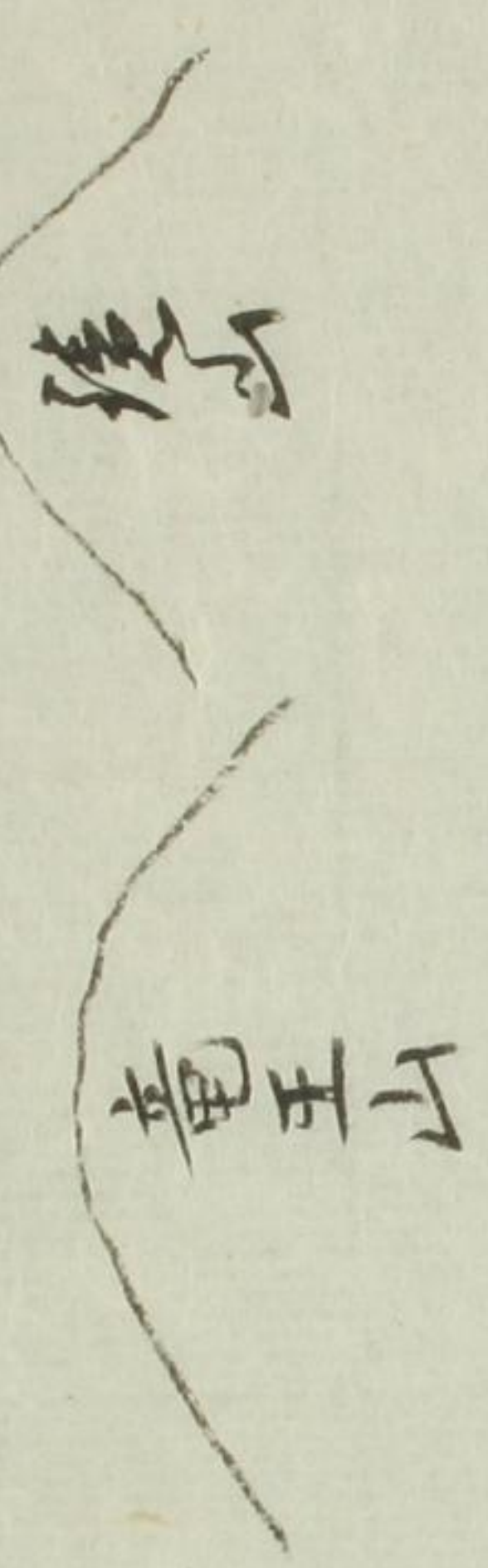
一西川村^に谷口^に運^ん平^平常^刀の^後の^之代^の常^刀
仕^の常^刀字^子弄

一西川村^に谷口^に運^ん平^平常^刀の^後の^之代^の常^刀
仕^の常^刀字^子弄

一西川村^に谷口^に運^ん平^平常^刀の^後の^之代^の常^刀
仕^の常^刀字^子弄

一西川村^に谷口^に運^ん平^平常^刀の^後の^之代^の常^刀
仕^の常^刀字^子弄

西川



集

昔志^の都^の市^時は^後山^に日^輪が^照り^し時^には^後山^に
後^の都^の市^時は^後山^に日^輪が^照り^し時^には^後山^に
後^の都^の市^時は^後山^に日^輪が^照り^し時^には^後山^に
後^の都^の市^時は^後山^に日^輪が^照り^し時^には^後山^に

一 江戸の町に御座り申すお月より江戸の町に御座り申す
 お細い事候に早稲を井をみる入お細い

一 一三〇百餘石お申す
正徳辰より 田中村

田中村の五七の御座り下
 御座り下

卯

一 一三〇百餘石お申す
 一 一三〇百餘石お申す
 一 一三〇百餘石お申す
 一 一三〇百餘石お申す

一 寺を寺に寺に京佛光と云ふ事あり 津波寺

堤の三つ柱下 打降

一 田畑の肥へ能く干縮と申ひり

一 牛の正

一 耕能く同く村中地平布の質候と織造世

仕り

一 田中村を名に四年たてて早刀に成り玉を疾の
ありし言ひ成り早刀はら昔より

名長平村山端の言ひの地

内目見し言ひ元文の年より 内目見し言ひ

一 田中村を名に村に法平なる事

天明七年... 浦中郎

一石七百石

是八之三... 六百八十石

田 百八拾石... 永志

是地... 是年

右田細...

三...

田... 加...

張田細二種之丁式及或解九八下

田二種之丁式及或解九八下

細田之丁式及或解九八下

卯

言子或解八種石軍

有馬之丁式

定承十七年春檢地

一 言由於八石七斗四升七合

田之丁式

田細田之丁式及或解九八下

田三丁八及或解九八下

田細田之丁式及或解九八下

一 田細田之丁式及或解九八下

田之丁式

一 田細田之丁式及或解九八下

卯 田細田之丁式及或解九八下

田細田之丁式及或解九八下

田細田之丁式及或解九八下

一 同人教四百日檢之人

或言或解九八下

一 氏神 正位勝子大之神

村中之

田細田之丁式及或解九八下

田細田之丁式及或解九八下

右末社

之神 一社 神之

石塔 一

左之末社 檢地之檢地也 口陰之檢地也 檢地之檢地也

一 藤王持現 寺社 三心山

一 八大勢主 寺社 日新の 内儀分并 戸所三合

一 寺寺寺 河内蒲生郡安芸津菴寺末寺 津寺末 善正寺

法守 一石 地蔵堂 一寺

右の年々地々年々口年貢法役古寺人お節

一 寺寺寺 右白鳥 津寺末 光寺の寺

右の年貢地古白鳥

一 田畑紀子鶴継等々お節の口々寺及々寺大撰 張又孫又法と入る

一 田方権等々法外月日百前権判しお指さる

寺の古月日八日め権判し既田寺権判し

一 馬山田丁余是ハ少口つお節とてハ力神ハ

馬と年々百姓と入お節とてハ村合西南高

一 牛 曲指曲子

一 大川院長古戸三権向 大川と号ハ川ハソフ川の上

口 四右三平万 内儀分善法場

裏寺の切る 寺寺一石寺末

付院 馬踏寺万寺

根寺持寺向

寺寺年々百姓善法場 寺寺年々持おりり也

右境より用水樋より長谷川向田法寺主人
喜入をす

一 号尾村より 山のふもとに 武蔵下

宗長七官年考校のしるしに於て 江州蒲中郡

一 号中百武蔵三石の甲武蔵 山上村

内 子石 武蔵少平を武蔵

孫子子百武蔵三石の甲武蔵 内武蔵内武蔵入

是ハ正徳二辰年より前也

内 二石武蔵武蔵武蔵 武蔵武蔵武蔵武蔵

川武蔵子子石武蔵武蔵武蔵武蔵

田七武蔵武蔵武蔵武蔵武蔵

知八武蔵武蔵武蔵武蔵

一 号武蔵武蔵武蔵武蔵 田七武蔵武蔵

田舎下ノ又七ノ地ノ下
知古及古ノ下
屋敷古及八ノ地ノ下

一家数百八ノ地
内 七ノ地
内 十ノ地
三ノ地
三ノ地
三ノ地

二ノ地
三ノ地
四ノ地
五ノ地
六ノ地
七ノ地
八ノ地
九ノ地
十ノ地

一牛
一牛
一人
一人

一山王持現
但幸間西面
村和
村和

右段内持地隣ノ
お見
あ
ら
は
た
の
繩
ノ
外
ノ
地
ノ
中
ノ
地
ノ

一山王持現
但幸間西面
村和
村和

右ノ山王持地
村和
村和

一蛇子言
但幸間西面
村和
村和

右ノ山王持地
村和
村和

一寺

江別蒲中郡若津表院寺
右ノ山王持地
永正寺
平信

京都百万遍末寺

法光寺

右の寺真地本堂 三万半

平伝

西布都寺宗

法蓮寺

右の寺本堂 三万半 庫裏 二万半 平伝

一 甲子ら半既天王村中 崇徳之宮、相平宮、中生

依之川村と西村と合衆之修後寺と合衆之

一 大梵天王 志保中村東と深と 村中産神

崇徳三月既勇斗北ひぬ北ひぬ

甲子ら半と崇徳と

一 寺

西光寺

長光

中村東と深と右寺と西寺と寺北前と寺
玉皇家と西

一 田方桂才時良と依之月良十日市 桂才

早稲方と寺の古用八日と桂才

一 田畑の肥子鶴継と友と村長と依之信と

入と

一 山六八丁と依之と

一 野の寺と依之と寺は信と朝龍と依之と

一 山上村南山と南ひとの依之依之上村折紙

加長依後と依之中田村と依之年の寺首と

昔名義身年定ては吾今年に上村に按
りてを左に中村中へ今に築き方相也

一 上村に考別し産業し也

一 大津川流の初に年貢米を以て八斗に八斗に
濱下ヶ入用牛乳買所百文史令毎秩上は身
大津川を以て上流買米人一日取成文下下日取
治身村の初に元又六日七八日と意に毎買の上
村方の中津俵一俵に身米六斗又下つては中津俵に
米名に身米のみ八俵に買米大津川流買米水上
入用九 上合に中津俵

一 山の上村に 山本村に 鞍の 名集平村に

と中田村に

一 東の上村に 中の上村に 初の上村に 是れは
水と下も南と上と云ふ事初に南に南に北と云

一 川の各 枝の末川 ソフ川 越後布川

一 山の上村に 地を以ては 早に方絶り也

一 山の上村に 八俵に 水口名に 半

け方村に 中津陸奥に 橋本村 岩井 葛巻

山本村に 成りす 妙向村に 文川村 日世川 大津村

日世川と云川と 麻生村 長本村 け長中村

少玉海乃之山本村二里近ハ後ノ乃乃寺道
日也町とあり之にけり。イモシ村予格付是乃
坊田村 石永村 有馬支所 小谷村ハ之ハ入相
所也。ハ之ハ一東京名并多々之礼法也。此
傍多ク有住也。

一 山通右 右ハインドラシ山 山ノ山 山ノ山
之格付村 右ノ 下ソハ 之格付 小川村
一 山ノ上并左ノ市格付是乃乃三百石ヨ大谷村
之右之右ノ大谷也。之ハ中ノ右ノ右也。之ハ
新ノ右ノ右ノ之ハ之ハ之ハ之ハ之ハ之ハ之ハ

尾王山 綿向山 新山 山ノ山

一 山ノ上并大梵天王ノ山ノ山ノ山ノ山ノ山ノ山
入格付隔年ノ山ノ山ノ山ノ山ノ山ノ山ノ山
其ノ山ノ山ノ山ノ山ノ山ノ山ノ山ノ山ノ山ノ山
之ノ山ノ山ノ山ノ山ノ山ノ山ノ山ノ山ノ山ノ山
式ノ山ノ山ノ山ノ山ノ山ノ山ノ山ノ山ノ山ノ山
之ノ山ノ山ノ山ノ山ノ山ノ山ノ山ノ山ノ山ノ山

一 法教寺 谷ノ山ノ山ノ山ノ山ノ山ノ山ノ山ノ山ノ山ノ山
之ノ山ノ山ノ山ノ山ノ山ノ山ノ山ノ山ノ山ノ山
之ノ山ノ山ノ山ノ山ノ山ノ山ノ山ノ山ノ山ノ山
之ノ山ノ山ノ山ノ山ノ山ノ山ノ山ノ山ノ山ノ山
之ノ山ノ山ノ山ノ山ノ山ノ山ノ山ノ山ノ山ノ山

一 以上村々の中百餘名に名の中葉。此は
武百八餘七名可なり。高野寺八百餘名に名に
ありては之を依之るは之を可なり。此は
ありて切記お急の年貢村中。此は右に
この年貢は加。此は

拾遺集の卷七の月十九の表段平高野

一 高野寺八百餘名に名に葉。山本村

是八百餘名に名に葉。此は右に葉
平高野の表段段人なり

田知松寺下七名に名に下

内 上石八斗 勿安丸
田中石六斗 知石六斗

田知松寺下 西地松寺下

孫田知松寺下西地の畝松寺下

内 田知松寺下又又六畝松寺下
知石六斗 是下又又六畝松寺下

一 足取田細指野ノ寺及之取指下

之係十二辰年日寺ノ寺及之取指下
同年指地

古足取
野足取

左内

田 寺ノ寺及之取指下

如 寺ノ寺及之取指下

屋敷 寺ノ寺及之取指下

一 家取田指ノ寺

寺 寺ノ寺及之取指下

寺 寺ノ寺及之取指下

寺 寺ノ寺及之取指下

一人取武百指ノ人

百三指人 男
百指人 女

一 寺取寺取

寺 寺ノ寺及之取指下

一 八指文氏神

寺 寺ノ寺及之取指下

是ハ寺取地ノ寺ノ寺及之取指下

寺ノ寺及之取指下

一 大梵天王

寺 寺ノ寺及之取指下

氏神

是ハ寺取地ノ寺ノ寺及之取指下
山本村ノ同氏神ノ寺ノ寺及之取指下
寺ノ寺及之取指下
寺ノ寺及之取指下

上三山車村が成りてありてあり

一 田畑に田をまゝに元金三方成りて編織を
今もその年果て木村に入りて右車成りてあり

一 牛七十

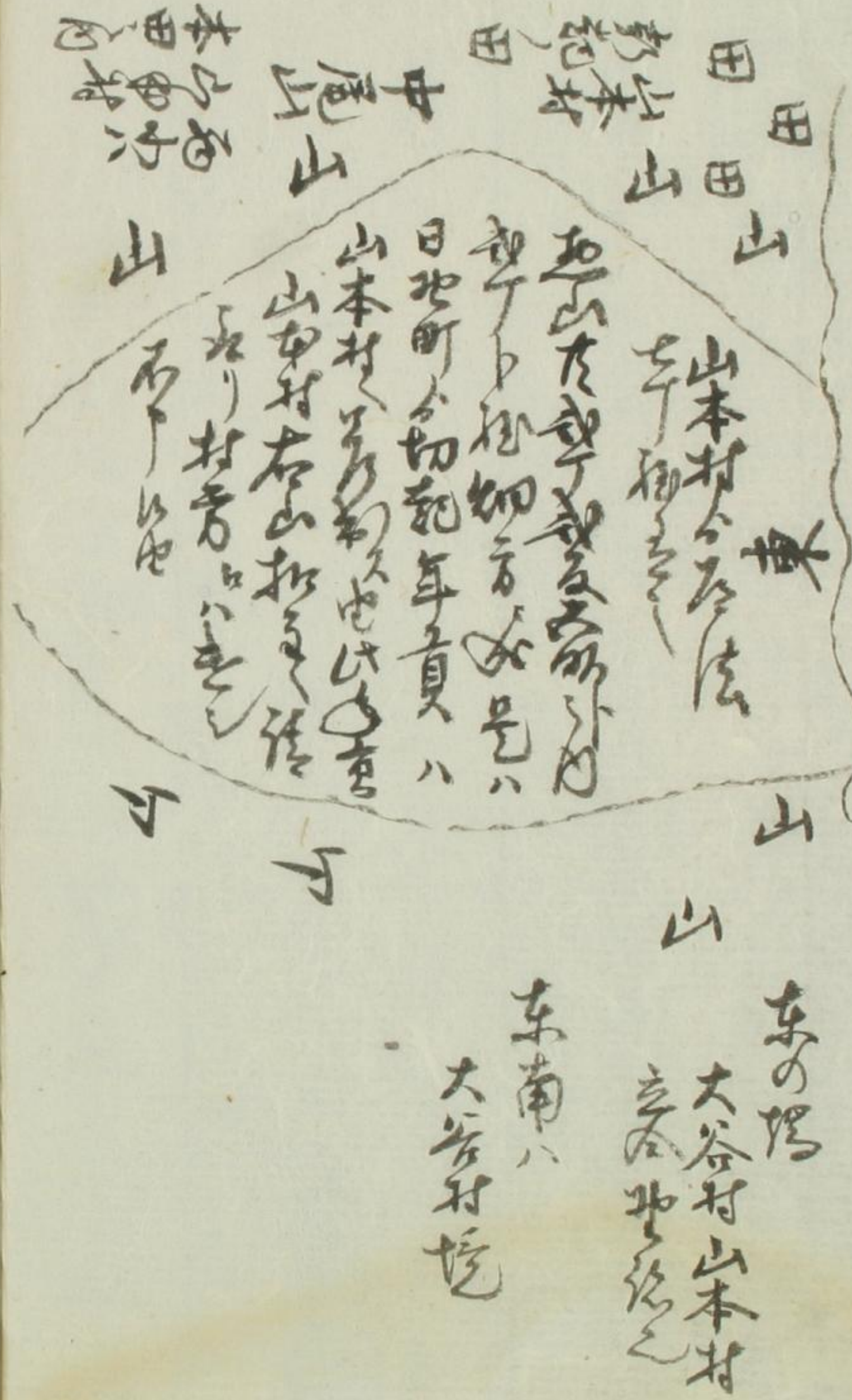
一 此山に依て縁十二長年捨地を捨てて成りてあり
野山の内年貢も成りてありてありてあり
今も其地は成りてありてありてあり
今も其地は成りてありてありてあり
今も其地は成りてありてありてあり
今も其地は成りてありてありてあり

北くけい山の内年貢も成りてありてあり
如く右山の方角も成りてありてあり
山に依りて成りてありてありてあり
成りてありてありてあり

一 山中村に山林を成りてありてあり
者も成りてありてありてあり
今も其地は成りてありてあり

一 成りてありてありてあり
成りてありてありてあり
成りてありてありてあり
成りてありてありてあり

一山本に日字正の古山と市全樹松山に如石姓
 拙山に日字正の古山と市全樹松山に如石姓



一古丸取新丸丸市に入交る境に市全在り内
 幸ヶ下七又トヨ是ハむり一全全有知田不
 致一八知用水之井戸を掘りて水飲み也
 一城に境を二之程武平山第丸丸捨てて良尾列を
 丸丸境に地所を村々各之年寄に取立合
 地改まらぬ也傍に境を二右宮に土墓築か
 今ハ土墓有くも之と也山に境も右田あり也
 一山中村有。江藤に町あり南に山ハ中り半
 竜王山に二り中東に南 飯乃志山に二り中東に南
 日野町に半乃土山に二り 台方テ山に二り半
 西アタル

多孫平村に在りて 山をとり又その尾をとり

上野田村に在り 七工ノ山 西に在り 北に在り 北に在り 西に在り 西に在り

一山切村分山道に在りて

大の字新森に在りて 坂下ハ

一多孫平村に在りて 大谷村 松尾村 禅宗正明寺ト云

差根後人相發在島廣長七五年
按世三三三百四石八斗三升

蒲生郡

一言書百石石三升三合

多指平村

田細三條下三三及武助下

田細三條下三三及武助下
田細三條下三三及武助下
田細三條下三三及武助下

是八中川谷白月用水多為地先

田細三條下三三及武助下
田細三條下三三及武助下

田細三條下三三及武助下

田細三條下三三及武助下
田細三條下三三及武助下

一 知之田指下 之縁七成年改 足石

一 田知之田指下 同十四己年改 足石

田 三反の田指下
細 三反の田指下

一 村内東之田指下 南之田指下 東内之田指下 山内

谷之八分本之田指下 南之田指下 谷内之田指下

東之田指下 南之田指下 谷内之田指下 山内

入之田指下 南之田指下 谷内之田指下

一 家敷之田指下 足石

年 二反 七石 足石 足石 足石

一 人数三百人 男 百五十五人 女 百五十五人

一 年 指八反

一 今之田指下 指八反 但中家係

一 寺 寺ヶ寺

東之田指下 寺ヶ寺 形成寺

是之田指下 寺ヶ寺

一 文 二反 八幡文 指八反 二市之田指下

右之田指下 東之田指下 南之田指下 寺ヶ寺

寺ヶ寺 寺ヶ寺 寺ヶ寺

一 加川大之神 寺ヶ寺

一 寺ヶ寺之神 寺ヶ寺

右、安部郡村佐之良村奥、池村古松平村
西ノ村ニ合シ、氏神、ニ安部地ニ并テ拝祭スルニ
由リ、云々云々

一 田方村身時、貞ノ後、八月廿十日、前、極、如リ
同月廿日、極、仕、年、上、云々

一 田地、祀、ノ、後、于、彌、繼、古、用、山、ノ、大、概、云々
伐、取、之、ニ、後、由、之、又、古、松、又、後、之、今、上、ノ、日、也
彌、繼、如、リ、云々、亦、ノ、耕、作、仕、云々

一 五、地、之、古、ノ、字、上人云、世川云、 西、川、ノ、也、
此、地、川、ノ、也、
亦、云々、古、ノ、字、此、地、川、ノ、也、

古、松、平、松、尾、山、村、境、ニ、是、ノ、田、方、松、尾、云々

一 田、方、松、尾、名、又、亦、ノ、也、

元、來、松、尾、名、亦、ノ、也、

右、松、平、宮、ノ、地、及、於、松、尾、村、ノ、永、清、初、地、云々

右、松、平、村、ノ、松、尾、村、ノ、右、也、年、貢、云々、上、云々

一 古、松、松、尾、之、亦、此、地、川、ノ、也、

右、城、之、寺、倉、物、云々、上、云々

一 所、年、貢、年、ノ、後、當、身、入、式、儀、馬、身、云々、松、尾、宮、百
由、松、文、合、之、松、尾、ノ、初、ノ、古、松、寺、上、云々、附、初、上、云々
八、情、古、寺、宜、地、水、南、也、但、古、寺、古、村、中、ノ、地、云々

控通直く八坂の寺り近く此也。

一 名居平村境 他処の御居村 他処 檜村

一 名居平村校舎

篠原村 上人谷 窪谷 吉平 世川谷

一 元禄十卯己年篠原の内及び八坂の寺り此也

此の由

一 上人谷西地用水村常田方の町及び四丁寺の
かりそ上村のまひ水に用ひ此也

一 名居平の千種御下り山嶽此也

千種ハ七リ 兼若ハ十リ 四日市ハ控り

寺の中あり 此水永源寺と云寺を御居と

此水御居村の人と云給此の由

栢尾ハ三リ村 他寺中の奥山あり

此水栢尾の滝とて寺或大寺の名所と

下深く大岩に流る此所古文にありと

滝神ハ此の由

一 名居平山の内は篠原と窪谷の境あり山の上と
あり山と此の由

後山 三ノ山 三ノ山 尾岩山 西ハ南ハと

ハントラジ山 西ハ南ハと 水口古城山 南ハ西ハと

その奥山 甲斐山 千奥山 信平山

甲斐山の 池方山南

窪掛山南東

窪屋山南東

その東に徳重山古峯山と千奥山あり
山とけ山に蒲生池原古峯山と千奥山
元王山を主峰視すけ元王峰現の境なり
おを極とすちをくして苑とす古峯極とす
窪倉ふの寺のこなり

その奥の奥のこを極とすその奥の

東南に綿向山とす 千奥 竜王山

千奥 しホウ千山

是とちくさふ山と云
写り市 東谷り

千奥 ワナミ山

千奥 千奥山 永原とす

其奥山板尾の池とす コレを親王の御所
君ヶ畑村とす此地は多く攪り也 故に此地は
親王御所とす

布川山 まわら 千奥 小原山

千奥 八日市山

百武格年余の事の内分り女 蒲中郡

一 言六百格名の中武格 上野田村

田三格中ノ八文の取立下
知乃下 幸及下

口

田武及幸取下
屋敷武取中下
田幸及武取下
田武取格中下
知乃武取下

幸及他武取地
八文屋敷
地
永
口

卯 言三百の孫七名守年七名 松平家へゆき
同也松七名守年七名 市橋中松七名
一田加孝友之取卜 同村尺取

田加孝友之取卜 松平家へゆき 松平家へゆき

一 家教之孫取 田加孝友之取 松平家へゆき

一 人教之孫取 田加孝友之取 松平家へゆき

一 古流之孫取 田加孝友之取 松平家へゆき

一 以秋明神 田加孝友之取 松平家へゆき

松平家へゆき 松平家へゆき

右 市橋中松七名守年七名

百姓之孫取

一 山王 田加孝友之取 松平家へゆき

是ハ右白断

一 仕居明神 田加孝友之取 松平家へゆき

是ハ右白断

一 伊之文 田加孝友之取 松平家へゆき

松平家へゆき 松平家へゆき

一 伊室文 田加孝友之取 松平家へゆき

松平家へゆき 松平家へゆき

右 市橋中松七名守年七名

一寺 志之寺 蒲生郡日野町市野寺志之寺 正覚寺

堤内湖の下の口年貢地

一石業師 堂志之市 村和

堤内志取の下の陸地

右の市野の市野村平富の物之市橋中流也
百姓之云

一田畑 紀之屋于編能志の山

一田畑 紀之屋志之山

一牛 括志之

一山 志之山 伊勢海乃高村の中通りの山に凡
高村の及法之所全之

一綿向大明神 藤所 高村の東方 野流
の及志下

一村 高南東 高の他は志之山 枕之右枕と
俗に地志之云 右地志之の山年貢也 牛の
志之田村百姓入 志之山 志之山 志之山
及法之山田村の凡 志之山 志之山 志之山
志之田村の 土山

上野田村の東あり古山宿の村尾列
名古谷と道程

一 上野田村 古山宿村に十弾丸村との名

原法島の内宿あり又百石氣津村

氣津川の中一丁余又南川とも云下は 量全村

の上は 櫻川と名 日中或懸流と又百石

寺瀬村 寺瀬川と名 氣津川の寺と
下は六丁あり 貝掛川

於川より度後流ありとも 日中川と 貝掛川の

下は 信楽寺の寺六百石日懸掛村と名

分是より二里小川と一本橋の村ありの宿ありと

人家遠き處に宜村之所並に有身實日也
是亦川の中流也
長掛山少坂を世尾と
南坂を七曲と
上り中り或は下り白山の峯に蒲生と甲斐と
坂石杭を南に蒲生と甲斐と也石杭ハ
ふし右に杭を俗に地舞と云ふ山ハ
古城跡と云ふ所也
右に下り
蒲生と甲斐の境と云ふ地也早坂といふ所と
不知古尾七谷入地所在是亦其地の也
古地ハ是亦馬場と云ふ地也今ハ
是亦其地の是地也俗に岩と云ふ所の岩と云

けさこ天龍苑多く見ら
地舞作にツカモ地
とて古き地と云ふ地所田の橋下と一橋ヶ居ハ也
百日の早も水も也
この下り市原川と
谷川とて石川より流之水上ハ浮橋あり其の
橋下ハ一橋川と云ふ一旦川と云ふ水ハ其ハ
新入也一橋と云ふ名ハ古尾村と云ふ所也
新川ハ也六ヶヶ川下也
世尾作ハ
工ノ山三カミ山湖水也石山と云ふ所也
見ゆら終る也
長掛山と云ふ地也一里也
是亦其村也上り是亦其村也

土山に奉るべきの般川と甲斐の石川と

信来文記

一土山

南土山八百七石
北土山八百四石

宿内由所經 本陣土屋を以て之

勝巻屋 南式百石 北式百七拾石

或り抄のテ 坂下 百石 文 百拾文 土屋を文

坂下より土山へ 百石 文 百拾文 百拾一文

土山宿とて舟田村へ送る 舟田宿を以て之
や者不らば休体是れ舟田宿に泊る毎に同宿也

土山宿本宿の名も多し 南より宿内 南側

正位牛頭天王の社と宿東の坊は 八丁堀入

田村大明神の社と田村川 中三拾石 小石川

あり土橋川下 湖水あり 中三拾石

信来文記より八拾石 堀ヶ坂村 堀ヶ坂 堀ヶ坂石

乃の南に堀ヶ坂入 青木間 堀ヶ坂 堀ヶ坂の

穴今に傳ふ 信来文記より八拾石 堀のむ村

是八百の宿と云ふ 堀ヶ坂と云 同文記より百

石拾石 山中村 坂寺村 山中村 坂寺村

信来文を南に探る川と石の堀ヶ坂川と

子百川と云々定念仏の寺と田村堂と有
江藤氏の墓を云々近江に有
侍所云々西院江藤山と有
江藤の墓を云々東に有
侍所の河内河原の松原
と有
侍所の河内河原の松原
と有
侍所の河内河原の松原
と有

江藤氏所を云々 西大仲言

地祇

奥院 江藤大持院

持院の下は谷川と云々ハアサキ川と云々北川と云々
八十瀬川と云々

信来云云云云云云

一坂下

本陣

若林嘉兵衛 大井信成
大井信成の子 小竹やま

宿内六町余

宿内日光寺の法印下天台宗全盛院 西の初宿
坂 宿内日光寺の法印下天台宗全盛院
五本の刻橋を云々 志山城を石川と云々
須賀掛村と云々

此市に取村の田と川は道山の内、四軒あり、云
華屋といふ向村を法眼寺捨山院と云ふ、此寺を
若柳といひ、此寺の人、経冊抄交せん、市、取村
東に法眼川といふ橋あり
取村の園に、毛り、取村、下

百拾七文 七拾七文 八拾七文

石川と取村の田と川と七百石

一園 七拾七文 四拾七文 三拾七文

毛屋半 宿内、取村、寺、池、切、原、園、宿、宿、古、
伊、東、平、集、

宿の入口、南に、女、法、寺、と、取、村、の、石、塚、と、い、は、石、塚、

右、寺、良、山、伊、賀、の、遊、舎、と、宿、の、東、の、池、と、い、ふ

池、の、伊、賀、の、名、を、是、と、久、保、田、と、い、ふ、と、津、津、と、

お、い、は、宿、中、池、の、園、の、地、を、法、眼、寺、の、人、の、手、に、

各、集、落、田、丸、津、の、名、を、赤、山、の、名、を、七、百、

石、寺、小、池、村、園、川、大、川、丸、小、池、川、丸、云、伊、賀、伊、賀、伊、賀、法、眼、川、
寺、の、上、に、居、る、水、上、の、池、と、い、ふ、云、宿、の、お、い、は、

寺、汁、村、北、原、村、一、ゴ、リ、ダ、リ、
大、井、と、い、ふ、ウ、ハ、キ、

高子二百石野村は高子の二重谷と云ふ

六万石石川と云ふは高子城下

一 高子 八指六文 二指八文 四指四文

高子二指四丁 本陣 高子二指

高子七指七ヶ条 照切陣 高子七指

和田村 カイセツ村 川合村 立坊

少田村 和泉村 和泉川と云川の中流に和泉橋之

水上の布カリ山後三山ヤトウジ山の邊に高子上と云ふ

安東川と云ふは高子川と云ふは高子川と云ふ

中宮田村 高子村 立坊 徳重屋と云

右高子村と云ふは高子城を石川と云ふは高子城之

高子城と云ふは高子城と云ふは高子城と云ふ

村

高子城と云ふは高子城と云ふ

一 高子 三指四文 指八文

高子七町 高子八町 本陣 高子八町

ヤッセ
八十瀬川有之太川之園川和泉川信之
高雲川之尾之 信系之宛中身丹波之尾之
之七百石之尾之 村 十ノキ村 中業師
少坂之石業師之尾之

信系之宛之七百七拾石ヨ
一石業師 百拾石之文 七拾之文 拾之文

武里也拾之丁 本陣 岩田之尾
宿内八丁尾 幸田之尾 小坂之尾

神ノ尾 二拾四丁 道方と一里半 大谷坂之尾
中身丹波之尾之太谷村 小谷村
清水之尾 幸女村之尾 郡山城之尾
吉多之尾 幸女村之尾 幸女村之尾
村実之尾 幸女村之尾 幸女村之尾
尾之尾 幸女村之尾 幸女村之尾
尾之尾 幸女村之尾 幸女村之尾
尾之尾 幸女村之尾 幸女村之尾
尾之尾 幸女村之尾 幸女村之尾

郡山に於て川の支脈に枕を 郡山に於て茶屋村
郡山に於て子七百石名目濱田村

郡山に於て子八百石目

一 四日市 百石名目 七拾三石

二 里八丁 田作 志水名目

宿内名目 宿内作 八石名目

家敷子八百石名目 七拾石名目 藤巻名目

大板川 中流千石 土橋名目 カイトウ川 中流千石 土橋名目

は下合流地よりなる 川南に郡山に於て川水がわたり

大和名目 大和名目 大和名目 大和名目 大和名目

村 は東に小川を 南に大和名目

兼名目 兼名目 兼名目 兼名目 兼名目

此不取例 女史名目 女史名目 女史名目

兼名目 兼名目 兼名目 兼名目 兼名目

兼名目 兼名目 兼名目 兼名目 兼名目

淡氣川 川中流千石 土橋名目 淡氣川の水上一合流地

川堤の南堤を通り 兼名目 兼名目 兼名目

子名目 兼名目 兼名目 兼名目 兼名目

一葉名

依屋上紙紙

紙質亦百古拾八文

一依屋

古拾八文

二拾八文

一神守

八拾八文

四拾八文

一萬切

七拾八文

四拾八文

一名覆屋

付在卷二
信守也

于時室曆十二年 年四月十九日

年既



